

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
RAV4

専用シートカバー取付説明書

0153/0154/0155
0156/0157

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

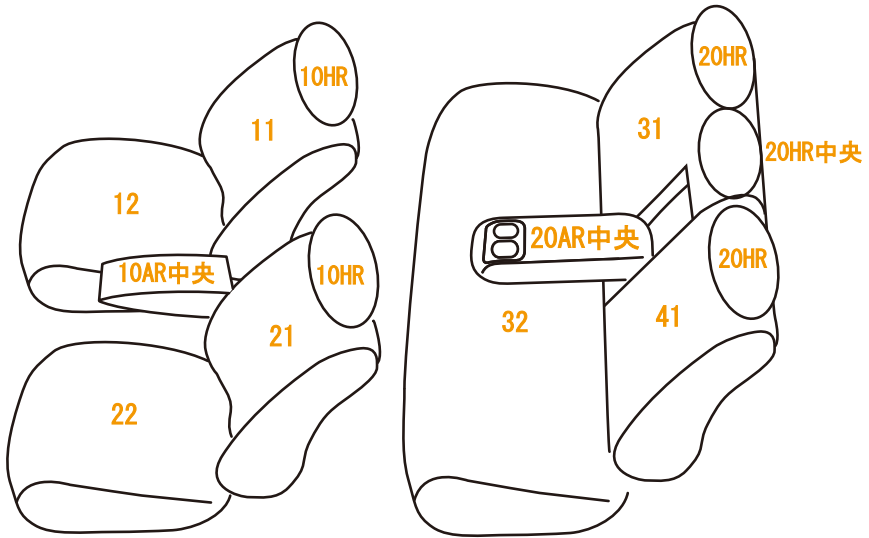
…> 05-28

シートカバーの装着方法

…> 29-30

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 12mm・14mm)
- ② 両面テープ (薄いタイプ)
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品 交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品 交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着してから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま）にされると、バッテリーがあがりたり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際（シートカバーを取り外した際）にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際にご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましてはも一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

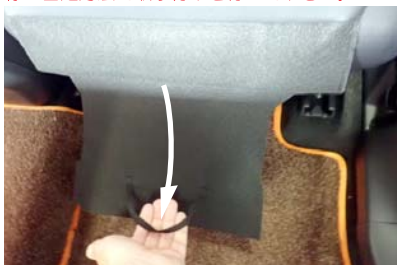
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

この説明書は主にガソリン車のアドベンチャーグレード（2019年6月現在）のシートを元に作成しています。ガソリン車のその他のグレード、ハイブリッド車は、一部シート形状に異なる部分がありますが、同様の固定方法で取り付けを行って下さい。



- 1 背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムを引っ掛けて固定されています。ゴムの固定をほどき、生地を外します。



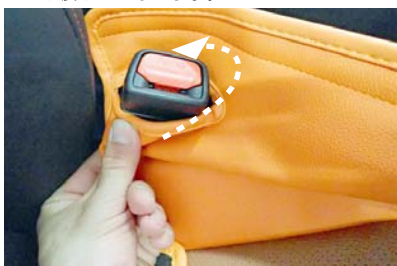
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭くなっています。シートを後ろ側に倒した状態で生地をできるだけ入れ込み、その状態でシートを起こすと生地が入り込みやすくなります。



- 2 運転席のシートはパワーシート・マニュアルシート共に、一番高い位置にシートを調整してから、カバーの取り付けを行って下さい。シートのラインに合わせて、カバーを前から後ろへかぶせます。



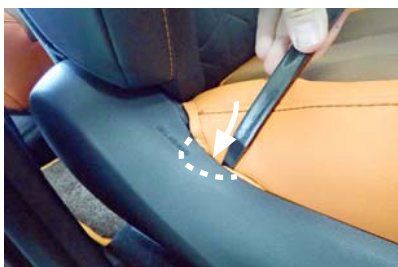
- 5 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。図のように配線がある場合は、配線部分に注意して生地を引き出して下さい。



- 3 カバーの加工穴にシートベルトのバックルを通します。



- 6 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 7 シート外側の付け根辺りは、隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチックパーツの内側に沿わせるようにして、生地を入れ込みます。



- 8 シート内側のカバーは、シートに沿わせるようにして生地を入れ込みます。入れ込んだ生地の端にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は、固定する前に保護テープを外して下さい。



- 9 図はパワーシート車の前側です。カバーの前側に付いているベルトを、プラスチックパーツの内側を通して、シートの裏から引き出します。ベルトを入れ込んだらカバーの前側の生地を、プラスチックパーツの内側に入れ込みます。



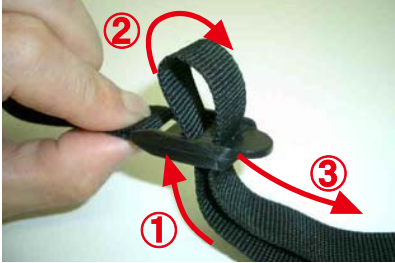
- 10 カバーの前側に付いている4本のベルトをシートの裏から背面側へ通します。※この際、シートの裏にはあらゆるパーツがあります。ベルトがシート裏に引っ掛からないようにかわしながら、できる限りそれらのパーツの上にベルトを通すようにして下さい。



- 11 シートの背面からベルトを引き出します。



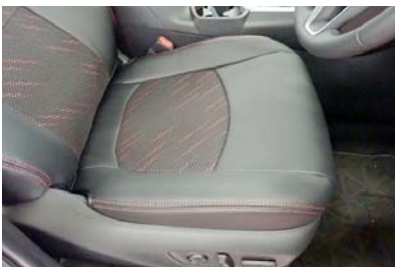
- 12 5ページ5番で引き出した生地に付いているバックルに、引き出したベルトを通します。※7ページ13番でベルトの固定方法を説明しています。両端のベルトは出来るだけ端に寄せて固定するようにして下さい。中央に寄っていると表面のカバーにシワがよることがあります。



- 13 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするのでご注意ください。



- 14 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様に取付けます。



- 15 アドベンチャーグレード以外の座面の完成図です。一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取付けます。



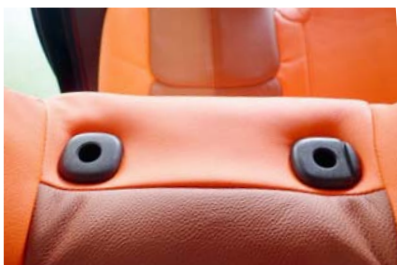
- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 2 5ページ1番でシートの裏から外した生地をめくり上げて、カバーの内側へ入れ込みます。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず片側の台座のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



4 生地伸びを利用して、台座を取り出します。



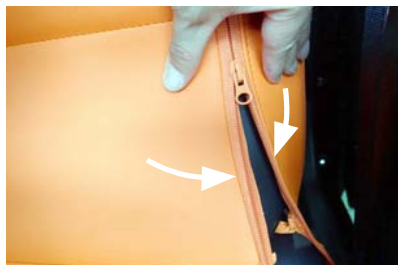
5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



6 カバーの両端に付いているマジックテープはシートの上からは隙間が大変狭いためシート中央に寄せて入れ込みます。この後のシート背面から引き出す際に、マジックテープがねじれないように注意して下さい。



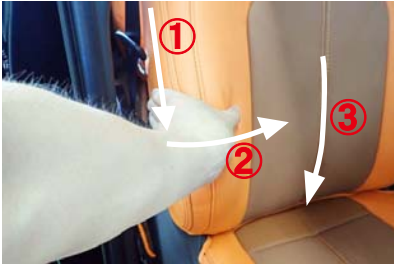
7 入れ込んだ生地・マジックテープをシート背面から引き出します。マジックテープは中央部分から少し引き出して、図のように端にスライドさせるように寄せます。配線がある場合、マジックテープは配線の外側に来るように交わして下さい。



8 側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



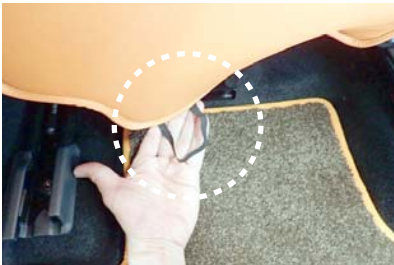
9 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



- 10 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を8ページ7番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで繰り返し行って下さい。



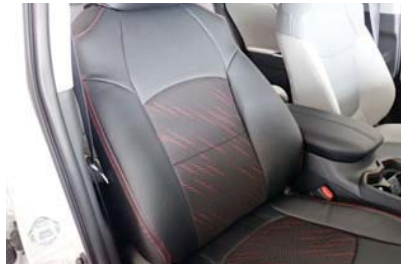
- 11 8ページ7番で引き出した生地・マジックテープを、カバー背面のポケット下の裏側に付いているマジックテープと固定します。



- 12 カバーの背面下にゴムが付いています。ゴムを5ページ1番で外した生地を固定していたシート裏のフックに引っ掛けて固定します。



- 13 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

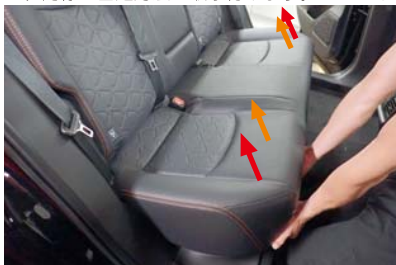


- 14 アドベンチャーグレード以外の1列目背もたれの完成図です。形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法

2列目座面の装着は、主にガソリン車のシートを使用しています。ハイブリッド車は一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。カバーはシートを車体から外して取り付けを行います。



- 1 シートは図の矢印位置のシート裏辺りにある、フック2か所所固定されています。図の赤の矢印がガソリン車、ハイブリッド車は中央寄りのオレンジの矢印辺りにフックがあります。シート裏のフックのすぐ横に手を添えて、片側ずつ真上に持ち上げるとフックが外れます。



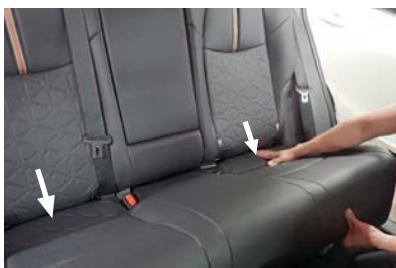
- 4 シートの固定が外れました。



- 2 フックが外れてシートの前側を浮かした状態です。図の赤丸の位置がシート裏のフック、オレンジ丸の位置が車体の受け側になります。



- 5 シートを車外の作業ができるスペースに運び出します。車外へ運び出す際は、慎重に作業を行って下さい。



- 3 前側のフックが外れたら、次に後ろ側のフックを外します。後ろのフックは図の矢印部分辺りの、シートの付け根を押さえながら、シートを手前に引くと外れます。



- 6 カバーの装着を行います。3番で外したシート付け根のフックをカバーの加工穴に通します。



7 10ページ6番で引っ掛けたフックの位置を基点に、カバーをシート全体にかぶせていきます。



10 シートを裏返してカバー前後のベルト6本を固定します。



8 カバーをシート全体にかぶせて、シートのラインに合わせてください。



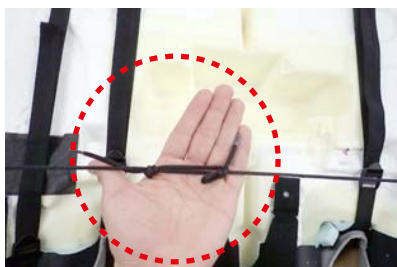
11 カバーの側面から出ているヒモの方側で、図のように輪を作ります。



9 図のシートベルトバックルが出るシート部分に、生地を馴染ませるようにカバーをかぶせます。



12 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 13 通したヒモを引き、カバーの下周りを絞り込み結び留めます。



- 16 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは2列目背もたれ・アームレストを装着後、車体に戻します。シートを車体に戻す説明は24ページの70番から確認して下さい。



- 14 カバーの端がシートの裏側へ回っていることを確認して下さい。生地が裏へ来ていない場合はシート裏の固定を再度調整して下さい。

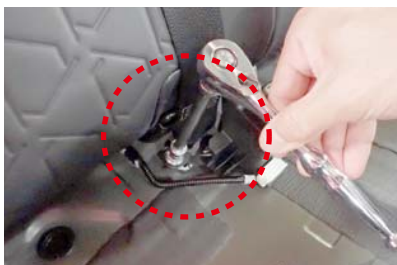


- 17 ハイブリッド車の2列目座面完成図です。一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

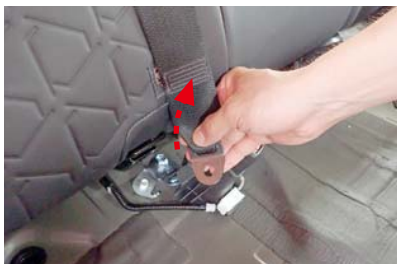


- 15 シート中央の付け根部分です。
カバーの端に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。

Step 4 …→ 2列目背もたれ・アームレストの装着方法



- 1 中央シートベルトの車体側の固定を外します。シートベルトは車体にナットで固定されています。ソケットレンチなどを使用して、ナットを外します。ソケットは14mmを使用します。



- 2 シートベルトはシートに付いているゴムを通っているので、そのゴムから抜き出します。



- 3 アームレストをシートから外します。助手席側のシートを前に倒して、シート内側のプラスチックカバーを外します。まず図のようにプラスチックカバーの上側の付け根部分を持ち上げるようにして、上側の裏のツメを外します。



- 4 3番で上側のツメを外した状態を維持しながら、プラスチックカバーの下側を矢印方向へ引っ張り直します。プラスチックカバーは柔らかい素材のため作業は慎重に行ってください。



- 5 3番・4番の作業でツメが外れプラスチックカバーが図のように外れます。プラスチックカバーを外すとアームレストの軸が出てきます。



- 6 アームレストを固定しているボルトを外します。ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは12mmを使用します。



- 7 アームレストの可動域を調整している枠から軸部分が抜けるようにします。アームレストをほぼ立てた状態にして下側に押し込みます。



- 8 7番で下に押し込むことにより軸が抜ける隙間を通ります。軸が抜けたら図の手で掴んでいる部分を、慎重に手前に引き出します。



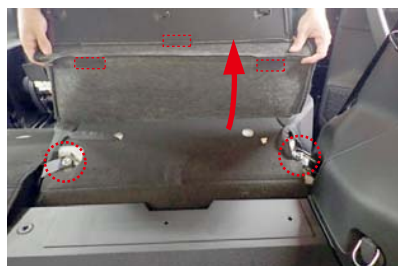
- 9 アームレストがシートから外れました。アームレストの取り付けは20ページの46番から確認して下さい。



- 10 シートを前に倒して、シート背面下側の固定を外します。こちらは先端がギザギザなブラッシュクリップで固定されています。クリップの付近を指でしっかり掴み、真上に引き上げることでクリップが外れます。



- 11 ブラッシュクリップを全て外すと図のようにシート下側の固定が外れます。クリップは運転席側3本、助手席側3本の計6本あります。



- 12 11番の状態からさらにシート下側部分をめくり上げます。赤枠位置のマジックテープの固定が外れて、シートを固定しているボルトが出てきます。ボルトは図の赤丸部分にあります。



- 13 シートを車体から外します。
14ページ12番のボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



- 16 シートを車外の作業が出来るスペースへ運び出します。
シートを車外へ運び出す際は、慎重に作業を行って下さい。



- 14 ボルトを外して、シートを固定していたフレームをラゲッジ側に起こします。



- 17 図のプラスチックパーツを外します。
シート背面側のプラスチックパーツとシートの隙間にヘラなどを差し込み、てこの原理のようにヘラを起こすと背面のツメが外れます。背面のツメは4カ所あります。ツメの固定はそれ程強くありません。



- 15 シートを手前に引くと完全に車体から外れます。



- 18 背面のツメを外し、プラスチックパーツを図のように背面側から真上に引くとシートから外れます。



- 19 シートにカバーをかぶせます。
中央のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



- 22 アームレスト下側の図の部分、シートに馴染ませるように生地を整えます。



- 20 アームレスト上側の図の部分、シートに馴染ませるように生地を整えます。



- 23 カバーをシート全体にかぶせてラインを整えます。



- 21 アームレストを固定していた金属フレームをカバーの加工穴に通します。



- 24 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 25 中央のシートベルトが出てくる箇所のプラスチックパーツとシートの隙間に生地を入れ込みます。ヘラなどを使用してプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



- 28 シートの背面側も生地を入れ込みます。



- 26 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 29 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 27 リクライニングレバー部分のプラスチックパーツとシートの隙間に生地を入れ込みます。前側は隙間が狭くなっています。ヘラなどを使用して慎重に入れ込んで下さい。※前側の生地を入れ込む際にプラスチックパーツのツメが外れることがあります。ツメが外れた場合は、プラスチックパーツを上から押し込み固定して下さい。



- 30 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 31 ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 34 シート背面下の純正シート表皮を固定しているフックを外します。



- 32 シート背面側の生地をしっかりとめくり上げてシート表皮のファスナーが見える状態にします。



- 35 フックを全て外すとシート内側のクッションが見える状態になります。



- 33 カバー側面の端にマジックテープが付いています。マジックテープをシートの背面に引き出して、直接シートに貼り付けて固定します。純正シート地のファスナーをかわしてマジックテープを固定して下さい。



- 36 カバー下側の生地をシートの背面から引き出します。
35番でシート表皮の固定を外したフックの代わりに、シートの背面側のフックと、引き出したカバーの端に付いているフックを固定します。フックは純正シート地のフックと同様に生地と一緒にフックを折り返して、純正シート地のフックにはめ込み固定します。



- 37** フックを全て固定すると図のようになります。
 ※フックがしっかり固定できていない場合シートを動かしていると固定が外れてきます。フックは全てはめ込んだ後、再度ヘラなどを使用してしっかり押し込んで下さい。



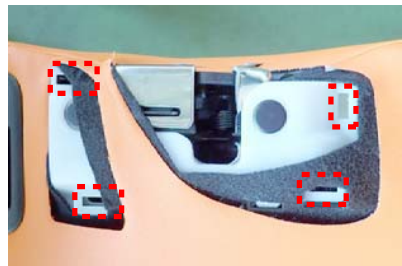
- 38** カバー背面の内側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 39** カバー背面の一番端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 40** シート側面のプラスチックパーツを固定しているツメにカバーの切り込み穴を通します。切り込みなので生地が裂けやすくなっています。作業は慎重に行ってください。



- 41** 15ページ18番で外したプラスチックパーツを元に戻します。プラスチックパーツを固定するツメの穴位置に生地が被さっていないか確認します。この際純正のシート地がずれて穴位置に被さっていることもあります。生地をずらしてしっかりと穴を出して下さい。



- 42** 40番のツメ、41番の穴位置を意識してプラスチックパーツを元に戻します。
 ※プラスチックカバー周りの生地は最小限の厚みにしていますが、元々固定があまり強くないため、シートを頻繁に動かしているとプラスチックパーツが外れてくる可能性があります。その際はしっかりと押し込み固定し直して下さい。



- 43 プラスチックパーツを固定すると図のようになります。



- 44 アームレストを固定していたフレーム横の図の赤線位置の生地裏に、マジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その際は保護テープを外してから固定して下さい。



- 45 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は、一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。シートはアームレストにカバーを装着してアームレストをシートに戻した後、車体に戻します。シートを戻す説明は23ページ60番から確認して下さい。
※アームレスト収納部は、生地がたるみやすくなっています。アームレストをシートに戻した状態でしばらく置いていただくとう生地がシートに馴染みやすくなります。



- 46 アームレストにカバーをかぶせます。純正シート地のつまみ部分はドリンクホルダー側に倒れるようにカバーをかぶせて下さい。



- 47 カバーの入口を図のように裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



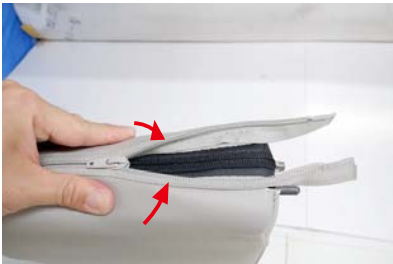
- 48 アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



49 図のアームレストの軸部分のカバーを、アームレストに馴染ませるように生地を整えます。



52 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



50 アームレストの軸部分で生地を寄せ合いながらファスナーを閉じます。



53 生地を全て入れ込むと図のようになります。
※アームレストを頻繁に動かしていると、ドリンクホルダーの縁から生地がはみ出してくる可能性があります。その際は再度生地を入れ込んで下さい。



51 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



54 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。
ここからシートに戻します。



運転席側の軸を
先に入れ込む

- 55 シートを図のように寝かせた状態にして、アームレストはほぼ垂直の状態にします。まず運転席側の軸を入れ込み、次にフレーム部分のアームレストの可動を調整している枠に、アームレストの突起部分を通します。



この隙間に通す
アームレストの下部分を
押し潰しながら戻す

- 56 フレーム側は、アームレストの突起部分がフレームの下に潜り込むようにして入れ込みます。突起部分が枠に入ったら、アームレストを動かしてみて、アームレストの動きに問題がないか確認して下さい。



- 57 ボルトの穴位置を合わせて、ボルトを固定します。



- 58 フレームを覆っているプラスチック部分を元に戻します。まず上側のツメを固定穴に通します。
※カバーの厚みが加わっているので戻し難くなっています。作業は慎重に行ってください。



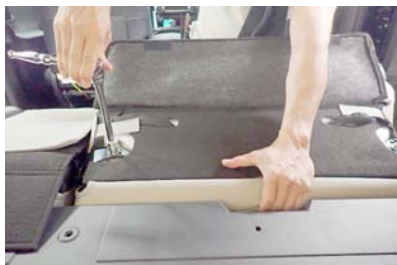
- 59 上のツメを引っ掛けた状態で、一旦矢印の方向に側面側を外へ広げながら、側面のツメも引っ掛けて固定します。



- 60 アームレストがシートに戻りました。ここからシートを車体に戻します。



- 61 助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 64 ボルトを元に戻します。
この際シートの付け根をしっかりと支えて作業を行って下さい。フレームとシートがずれた状態だと、ボルトがなめる恐れがあります。



- 62 シートを車体に戻します。
車体の下にチャイルドシート固定用フックがあるのでその上にシートを差し込むようにしてシートを戻します。



- 65 左右のボルトをしっかりと固定します。



- 63 15ページ14番でラゲッジ側に起こしていたフレームをシート背面側のボルト穴の位置に合わせます。
この際、シートの付け根部分を浮かしながら作業を行うようになります。作業がやり辛い場合は、シートの下に厚みのあるものを敷くことで、シートが浮いた状態になり作業が行い易くなります。



- 66 14ページ12番で外したマジックテープを元通りに固定します。
※この際、中央のマジックテープ部分はカバーで覆っているため固定できません。



- 67 シート背面下の生地をラゲッジ側と固定します。
14ページ11番で外したブラッシュクリップを元通りに差し込み固定します。
これでシートの固定完了です。



- 68 中央のシートベルトを固定します。
13ページ2番でシートに付いているゴムからシートベルトを抜き出した時と同じように、カバーにも同様の役割をするゴムが付いています。シートベルトをカバーのゴムに通します。



- 69 シートベルトを車体に固定します。
ボルトを元通りに固定します。



- 70 座面シートを車体に戻します。
背もたれの下へ斜めに差しこみ、付け根のフックが引っ掛かるように押し込みます。
この際、シートベルトバックルをシートの下に挟み込まないように注意して下さい。



- 71 シート裏のフックの位置と車体の受け側の位置が合っていることを確認して、上から押し込みます。フックがはまっていることを確認して、座面シートの固定完了です。



- 72 カバーのラインを整えて、2列目座面・背もたれ・アームレストの完成です。

Step 5

…→ ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないように折り返したカバーを左右交互に少しずつ引き下げていき、ヘッドレスト全体にかぶせます。生地に負荷が掛かりやすいため、この作業は慎重に行ってください。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



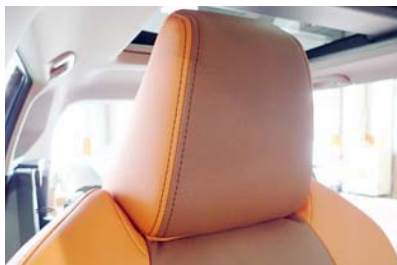
- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
アドベンチャーグレード以外のヘッドレストも、形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

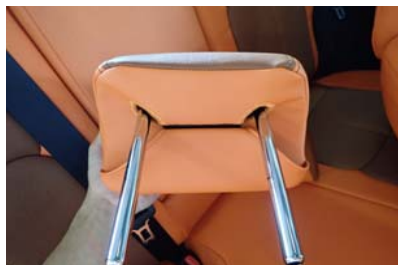
2列目ヘッドレスト



- 8 2列目ヘッドレストです。
2列目ヘッドレストは図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 9 1列目のヘッドレストと同様に、マジックテープを固定します



- 10 1列目のヘッドレストと同様に、ブラフックを固定します。



- 11 2列目中央のヘッドレストです。
2列目両サイドのヘッドレストと同様に固定します。2列目中央のヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 6

…→ センターコンソールの装着方法

※正確にはセンターコンソールボックスのフタ部分のカバーです。ここでは簡略してコンソールとして説明しています。カバーのタグに『10AR中央』と印字しているものを使用して下さい。



- 1 コンソールの下周りに薄手の両面テープを貼り付けます。両面テープは一気に貼らずに、何枚かに分けて張っていきます。



- 4 カバーを少しずつめくり上げながら、両面テープの保護テープを剥がして、コンソールのラインからずれないようにカバーを固定していきます。



- 2 図のように下周り全体に両面テープを貼り付けます。



- 5 両面テープのみでカバーをしっかりと固定します。両面テープは仮留めの役割ですが、この後の作業でカバーがずれないようにするためしっかりと固定する必要があります。



- 3 2番の状態からコンソールのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。



- 6 コンソールと土台となるプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。カバーの前後には固定部材が付いています。固定部材をシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。引っ掛けるようにしっかりと入れ込みます。

完成図



- 7 アームレストの側面は隙間が狭くなっている
ので慎重にヘラなどで生地を入れ込みま
す。
マイナスドライバーなどで隙間を作り、出
来た隙間にヘラなどで生地を押し込むと作
業が行い易くなります。
※先端が硬い工具を使用するとプラスチッ
クパーツに傷が入りやすくなるため、養生
テープなどでマスキングすることをお奨め
します。



- 8 フタを起こして裏側から確認します。
カバーの端が見えないようになるまで生地
を入れ込みます。



- 9 センターコンソールの完成です。



1 列目



2 列目



アドベンチャーグレード以外の
1 列目



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816